

1 この科目の構成について

教 科	保健体育	科 目	保健	単 位	1 単位
対象コース	全コース	対象クラス	2年1組～7組		
使用教科書	最新高等保健体育（大修館書店）				
使用副教材	なし				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ能力や資質を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身につけます。 1. 自分の体の状態がわかる。 2. 健康の維持と回復の仕組みがわかる。 3. 2の方法がわかり実践できること。 4. 集団の健康のために社会的行動がとれること。	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
1. 私達の心と体は、年齢とともに変化していきます。また、健康のために私たちや社会がすべきことも、それに伴って変化します。思春期から中高年までの健康に関わる事柄やそれぞれの段階で必要になる保健・医療サービスの活用の仕方など理解できるようにします。 2. 健康に生きていく上では、私達を取りまく自然環境、また社会の制度や活動などが深く関わっており、それらのものと個人の努力とが組み合わせあって、初めて健康が実現します。健康に関する環境・食品の問題や、働くことと健康の関係を理解できるようにします。	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
（１）学校 図書室などを利用して、実際に起きている問題を授業内容と照らし合わせ、より深い興味、関心を持つようにしてください。 （２）家庭 情報機関（新聞など）を利用して、実際に起きている問題を授業内容と照らし合わせ、より深い興味、関心を持つようにしてください。	

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
○行動観察記録・・・毎時間、学習環境が整っているか、授業態度をみて平常評価します。 ○レポート、ノート、作文確認・・・定期的に提出確認をし、各自の学習意欲を確認します。 ○定期考査・・・期末ごとに考査を実施し、習熟を確認します。	
評価における定期考査の割合	
	70%

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
（１）関心・意欲・態度・・・個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとしているか。例えば、何かに気づき、疑問を持ったり調べたり、楽しんで最後まで取り組んだり、実践したり応用させたりしているか、などである。 （２）思考・判断・・・個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的に捉えることにより、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断しているか。例えば、何かを創造することができるか、改善のためのプログラムを作成したり、出されたアイデアを判断できるか、などである。 （３）知識・理解・・・健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けているか。例えば、あることについて定義できたり、また、自分の言葉で説明できるかどうか、などである。 ※技能・表現・・・自分なりのテーマを見つけ、レポートを作成する。また、ブレインストーミングやロールプレイングなどの技法を理解し、自分の意見を主張できるか。	

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目		学 習 の 内 容				関	思	知	技
1 学 期	4	オリエンテーション		ガイダンス 道徳教育の実施							
	5	2 単元 生涯を通じる健康 ○思春期と健康 ○性への関心・欲求と性行動 道徳教育（ゾ・ェンダ・アイ・ソ・ティ・イー） ・グループ討議		・思春期における心身の発達や健康課題について特に性的成熟に伴い、心身面、行動面が変化することを理解できるよう学習します。また、これらの変化に対応して、異性を尊重する態度が必要であることや性に関する情報への対処など適切な意志決定や行動選択が必要であることを学習します。				●	●	●	●
	6	○妊娠・出産と健康 ○避妊法と人工妊娠中絶 ○結婚生活と健康		・健康的な結婚生活について、心身の発達や健康状態など保健の立場から理解し、受精・妊娠・出産とそれに伴う健康問題について理解できるとともに、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても学習します。				●	●	●	
	7	2 回 考 査 ○中高年期と健康		・ノート確認 ・加齢に伴い、心身が変化することを形態面及び、機能面から理解し、若いときから適正な体重・血圧などに関心を持ち、適切な健康習慣の保ち方などを学習します。また、加齢に伴う心身の変化と向き合い、受け入れていくこと、家族や親しい友人と良好な関係を保つこと、生き甲斐を持つこと、地域の社会的交流及び支援などの心理的、社会的要因が関わっていることを学習します。				●	●	●	
2 学 期	8	○医薬品とその活用 ○医療サービスとその活用		・我が国には、人々の健康を守るための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから保健に関する情報や医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが供給されていることを学習します。				●	●	●	
	9	○保健サービスとその活用 ○さまざまな保健活動や対策		・生涯を通じて健康を保持増進するためには、自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所、保健センター、病院や診療所などの医療機関及び保健サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることを学習します。				●	●	●	
	11	3 単元 社会生活と健康 ○大気汚染と健康 ○水質汚濁、土壌汚染と健康		・人間の生活や産業活動に伴う大気汚染、水質汚濁土壌汚染などは人々の健康に影響を及ぼしたり被害をもたらすことがあり、健康への影響や被害を防止するためには、環境の汚染について、発生の防止及び改善の対策が必要であることを学習します。また、そのために環境基本法などの法律などが制定され、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの対策が講じられていることを学習します。				●	●	●	
	12	第 4 回 考 査		・ノート確認							
3 学 期		○環境汚染を防ぐ取り組み ○ごみの処理と上下水道の整備 ・グループ討議 ・プレゼンテーション		・上下水道の整備、ゴミやし尿などの廃棄物の処理などの環境衛生活動は、自然や社会生活における環境と健康を守るために行われていることを学習します。また、その現状、問題点、対策などを総合的に把握して改善していかなければならないことについて、安全で良質な水の確保や廃棄物の対処と関連づけて理解できるよう学習します。				●	●	●	● ●
	1	○食品の安全を守る活動 ・グループ討議 ・プレゼンテーション		・食品の安全性の確保は、食品衛生法などに基づいて行われることを理解できるよう学習します。その際、衛生管理のひとつの方法である危害分析に基づく重要管理点（HACCP）方式の導入などについても理解できるよう学習します。また、健康被害の防止と健康増進には、行政・生産者・消費者などがそれぞれの役割を果たさなければならないことなどについて学習します。				●	●	●	● ●

間学習計画 ーこの科目でいつ・何を・どのように学ぶのかー				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	知	技
3 学 期	2	○働くことと健康	・職業病や労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴いその質や量が変化してきたこと学習します。また、職場においては、事故、災害を防止するための安全管理と、働く人の健康管理が必要であることについて学習します。働く人の健康保持増進は、職場の安全管理や健康管理と共に、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを学習し、さらに、この対策では、ストレスに対する気付きへの援助、リラクセーションの指導などメンタルヘルスケアが重要視されていることも学習します。また、働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることを学習します。	●	●	●	
	3	○働く人の健康づくり ・グループ討議 ・プレゼンテーション					● ●